



# 小学校だより

2022年  
1学期号  
2022.7.15

Vol.  
150

INTERVIEW

校長先生へ  
質問しました

「校長先生！  
梶山小学校にどうしてきたの？  
その前は何していたの？」

子どもたちとちよつとした時間に会話していると、タイトルのように聞かれることがよくあります。保護者の方からも質問いただくこともあります。そこで、恐縮ですがこの場をお借りし、Q&Aの形式で、いくつかの質問にお答えしたいと思います。

**Q 梶山小学校に来る前は  
何をしていましたか？**

**A** 昨年度から、梶山女学園大学教育学部教授として勤めています。本年度から梶山女学園大学附属小学校の校長を兼務することとなりました。一昨年度までは、名古屋市立小学校の校長をしていました。  
元々は、名古屋市立小学校の教員からスタートし、これまでに愛知教育大学附属名古屋小学



校に八年間、名古屋市教育委員会にも十一年間勤めた経験があります。愛知教育大学附属名古屋小学校では、社会学や総合的な学習の研究をする

とともに、帰国子女学級の部長なども経験しました。また、教育委員会では、主に教職員の採用や人事管理をする仕事に携わり、課長、部長を経験しました。公立小学校、国立小学校、そして教育委員会での経験を梶山小学校で生かしていきたいと思っています。



**Q 梶山小学校の校長になったことを  
どう思っていますか？**

**A** 子どもが好きて学校の先生になりましたので、再び子どもたちと直接かかわれることを大変うれしく思っています。また、伝統と先進的な教育を進めている梶山小学校の校長に就任できたことを大変光栄に思っています。

**Q 大学では何を教えているのですか？**

**A** 「専門教科社会」「社会の指導法」「総合的な学習の時間の指導法」などを教えています。子

どもたちがどうしたら自ら課題をもって主体的に解決していくことができるか、どのような教材を開発していけばよいのかなどを研究しています。

**Q 梶山小学校の子どもたちを  
どう思いますか？**

**A** 素直で礼儀正しく、自分の考えをしっかりと伝える子が多いです。また、高学年の自然なふるまいの中に品を感じます。こうした姿から、伝統と歴史のすばらしさを肌で感じています。一方で、体調不良を訴えに保健室を訪れる子が意外に多く、寝不足や運動不足などを心配しています。

**Q 梶山小学校を  
どんな学校にしたいですか？**

**A** これからの予測困難な時代でも、社会で活躍できる人を育てていく必要があります。まずは、身の周りに起こっている出来事を自分事として考え、自ら行動できる子を増やしていきたいと思えます。そのために、子どもたちが考えたことを尊重し、できる限り実現できるように支援していきたいと考えています。

**Q 最後に保護者の方々に一言どうぞ。**

**A** 学校の教育にご理解とご協力をいただいている保護者の皆様から感謝しております。子どもたちを取り囲む社会環境は厳しさを増していますが、子どもたちが自分らしく、そして安心して学校生活が送れるように職員一同全力で取り組んで参ります。今後ともよろしくお願いたします。

特集

## コロナ禍の中での異学年交流

委員会報告

P.4

学期の行事

P.5

学年トピックス

P.6

P.17

PTA

P.18

P.19

一学期の思い出

P.20

P.2  
P.3